

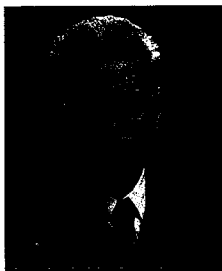
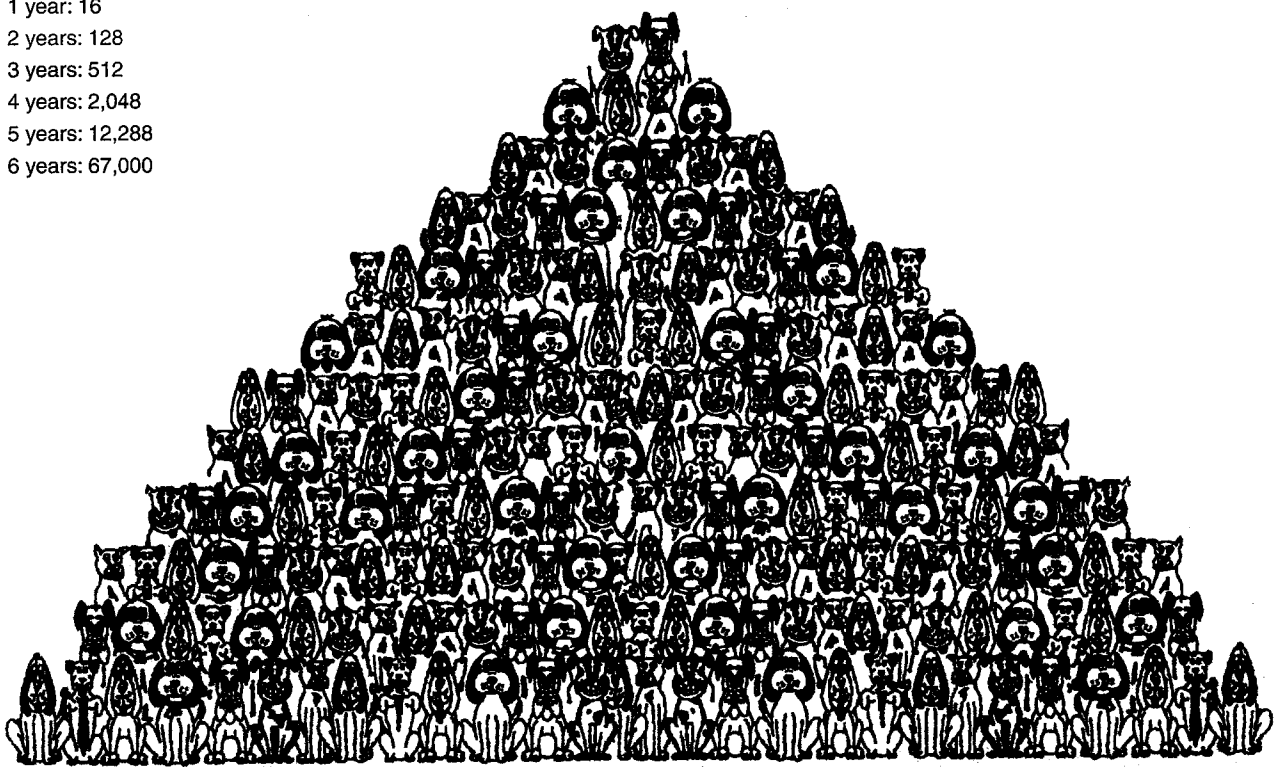
不妊手術を受けていない1頭の雌犬、そしてその相手の雄犬、
またそこから産まれる子犬たちが、もし不妊去勢をされことなく繁殖を繰り返した場合、

1年: 16
2年: 128
3年: 512
4年: 2,048
5年: 12,288
6年: 67,000

という総数になる。このチャートはまさにペットの過剰繁殖問題の根本原因を明確に示しているのだ。

An unsprayed female dog, her mate, all their puppies and their puppies'
puppies, if none are ever neutered, add up to:

1 year: 16
2 years: 128
3 years: 512
4 years: 2,048
5 years: 12,288
6 years: 67,000



W. MARVIN MACKIE, DVM マーヴィン・マッキー獣医師ワシントン州立大学 1963年卒
アニマルバースコントロール経営

マッキー獣医師は卒業後2年間、イリノイ州シカゴで小動物臨床に就く。65年カリフォルニア州南部に移転、壮麗な救命獣医師としての知名度を高める。1976年、不妊去勢クリニックで活動する傍ら、ペットの過剰繁殖問題の人道解決への貢献に本格的に取り組み始める。その後6年間は毎年同輩獣医師らとともに不妊去勢クリニックを開設。獣医療分野に新境地を開拓、経営にも新感覚をとり入れ、不妊去勢クリニックのイメージと地位を変革。1988年、ビデオ教材を広く普及することにより、若齢動物に対する外科手術の簡便さと迅速な回復力を広め、早期不妊去勢手術の採用と推奨に着手。

数年間にわたる試行錯誤を繰り返し、最小限の侵襲でより安全な手術方法を確立する。彼の技術は現在多くの獣医師が採用し、ともに研究した獣医師らにも賞賛されている。「我々獣医師は地域社会のペットのためのサービスの一貫として、飼い主にとって過剰な負担とならないような価格で不妊去勢を提供すべきである。不妊去勢手術にまつわる儀式的な教育形式や飼い主の個人的な感情を取り払うことができれば、開業獣医師としても有益に、簡単にこのようなサービスを提供できる。外科的技術に自信をつけること、また手術のプロセスで効果的ではない不必要で余分な手順を排除することが、この目標を達成するためには不可欠である。ペットの過剰繁殖問題（飼い主の許容数を超える新しい生命の誕生）を獣医師が職務上の失敗として、また大きな群全体としての衛生管理問題としてとらえる場合、そしてその場合に限って我々獣医師は人道的にペットの過剰繁殖問題への貢献において、その役割を果たすことができる。」

Dr. Mackie は全米各地において多くの講演および、デモ手術、実習による指導をおこなう。不妊去勢手術専門家としてのその評価は海外にまで認知されている。